

『ウクライナに光を』 寸評

- ・ 一気呵成に仕上がった作品という印象
- ・ ウクライナ国歌をもちつつ旋律全体もうたの性格が感じられる
- ・ m.9 以降ドンドン性格を変えオペラの序曲のよう
- ・ m.1-8 各拍にピアノのブ厚い和音を当てる強さも理解できる
- ・ 発想標語の洗練もみのがせない

完成度をさらに上げるために

- ・ m.1 右手 ペダル前提で次のように書いてもよい



- ・ m.4, 6-8 両手の二分音符はそれぞれ3拍分の付点二分音符がもとめられた音価ではないだろうか
- ・ m.16 b.3 *f*で終止したいのなら和音にも工夫するとよい



- ・ m.10 b.4 左手 基本形でおちついたらどうだろう



m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

われわれは音楽で勝負です。

持庵 勉